



校長式辞（抜粋）

新入生の皆さんの心は、これから始まる高校生活への不安の中にも、夢と希望で満ちあれていることと思います。これからの三年間、それぞれの夢の実現に向けて、果敢に挑戦していく皆さんに、こうあって欲しいという私の思いをお話ししてお祝いのお言葉にしたいと思います。

二十世紀以降、私たちが暮らすこの世界は、これまでに経験のないスピードで発展し、科学と技術の進歩が人間の活動範囲を拡大し、情報化や国際化の進展、医学の進歩など、私たちに大きな恵みをもたらしてきました。これからは科学の進歩が新しい技術を生み出し、明るい未来が拓かれていくことが期待される一方で、環境への負荷や様々な格差の広がりなど、人間への悪影響も少しくつろくアツクアツクされるようになりそうです。

例えば、現在も猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、一昨年の十二月に中国・武漢で発生し、あつという間に世界中へ広がりましたが、その背景には経済のグローバル化によって人と物が自由に、高速に移動できるようになったことや、数百万人が密集して生活する大都市化が進んだことが挙げられます。

また、エネルギー消費量が劇的に増加したことで、大量の二酸化炭素が排出されて、地球温暖化による気候変動が進み、異常気象が頻発しています。ある研究によれば、これまでは百年に一度発生するかどうかと言われていたレベルの台風が、そう遠くない未来、五年から十年に一度の頻度で発生するようになると予想されています。

世界や日本で拡大する、人々の様々な格差も大きな問題です。所得格差を例にとると、世界の富豪の上位約二千人が所有する資産は、貧しい人たちが四十六億人の総資産を上回ると言われています。格差の拡大は人々から能力を向上させる機会を奪い、経済成長率の低下にもつながります。この格差と貧困の拡大は、新型コロナウイルス感染症の抑え込みを困難にしている要因の一つでもあります。

そして、所得格差を始めとした男女間の不平等、ジェンダー格差も世界や日本における重要な課題の一つです。最近公表された世界経済フォーラムの「男女格差報告」によると、日本の順位は百五十六か国の中で百二十位に留まり、政治参加や経済、教育などの分野で大きな男女格差があることが話題になったほか、元首相による女性蔑視発言が海外でも批判的に報道されたばかりです。

私たちはこのような社会の状況や周辺の環境に大きな影響を受けています。様々なレベルで多様性が増している現代社会では、私たちが含めて、価値観も言語も宗教も異なる人々が協力し合って解決すべき世界の課題に立ち向かわなければなりません。言うまでもなく、「気候変動」問題は世界レベルで解決すべき課題であり、「貧困」「ジェンダー不平等」などの格差の問題も個人的なものではなく、社会や政治が強く関係しています。そして、国際社会全体として、これらの課題をより早く解決するために作られたのが「持続可能な開発のための目標（SDGs）」という共通目標です。個人的には「SDGs」という言葉で一括りにすること、個々の問題の本質が見失われてしまう不安も感じています。私たちの生存に関わる様々な課題を解決するためには、私たち一人ひとりが、視野を広げて世界の現状を理解した上で、実際に行動することが求められているのです。

そこで必要となってくるのが、本校の校訓でもある「知行合一」の考え方だと思っています。「知行合一」は、中国の明の時代に起こった学問・陽明学の基本思想の一つで、知ることと行うことはもとも一つのものであり、本当の知識には必ず行動が伴うものであるという意味です。本来、知識といふものは、何かを実践するために得るものですが、知識ばかりを溜め込んで、それを実践しなかつたり、学んでいるだけで満足したりしていることが多いのではないのでしょうか。現代はインターネットを通してたくさん情報が入ること、情報化時代で、知識ばかりが先行して行動が伴わないということが少なくありません。そういう意味で、「知行合一」は現代に生きる私たちに、大切な考え方と言えるのです。皆さんには、今日から始まる本校での高校生活で、常に「なぜ」と問い続ける姿勢を持ち、行動を起こすための正しい知識と能力を身につけ、そして実際に行動してくれることを期待します。

令和三年四月十日

岩手県立花泉高等学校 校長 嶋 隆

# ようこそ、花高へ!



及川玲一郎先生  
(副校長・理科)



相澤雅弘先生  
(芸術・音楽)



大谷 茂先生  
(理科・生物)



伊藤千果先生  
(養護教諭)

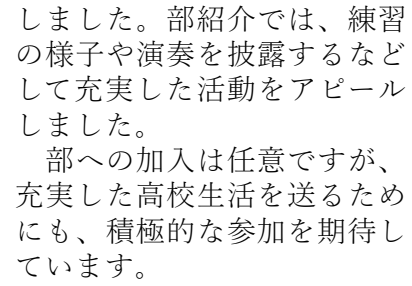


佐々木玄先生  
(保健体育)

令和3年度の定期人事異動で、花泉高校に5人の先生を新たにお迎えしました。授業や部活動などのご指導、よろしく申し上げます!

## 対面式・入団式、部紹介開催!

4月12日（月）、対面式・入団式、部紹介が行われました。生徒会長歓迎の挨拶に続き、1年生がクラスごとにステージに上がって一人ずつ自己紹介を行い、その後、応援団による校歌・応援歌紹介などが行われ、2・3年生が1年生を歓迎しました。



上：対面式・入団式 下：部紹介

部への加入は任意ですが、充実した高校生活を送るためにも、積極的な参加を期待しています。